

新入荷商品のご紹介



本弘実 加賀友禅 小紋
308000円
美しいきもの2019年冬号で松嶋菜々子さん着用の加賀友禅の小紋です。上品な柄行は、どんな帯でもコーディネートしやすし限定の逸品です。



アンゴラきものコート
88000円
柔らかな優しい手触りのアンゴラコートで底冷えするお出かけを暖かく、おしゃれに、冬の必須アイテムです。



かわちや
オリジナル草履
30000円
鮮やかな赤色の台に金の刺繍をあしらった鼻緒が印象的なかわちやオリジナルの草履。普段はわき役の草履ですが、主役にしてコーディネートしてみたいかですか？



印伝 長財布
11880円
鮮やかな赤漆で柄付けされた椿唐草紋の長財布です。スマートなシルエットとかわいらしい柄の印伝財布を新調して、令和2年新春から縁起よく！

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

きもの新聞 2020年1月号

ごあいさつ



あけましておめでとうございます。皆さんにお送りしていますこの『きもの新聞』も2015年1月から始め、6年目に入ります。飽きっぽい自分にはよく続いたなあと思ったりもしますが、本年もより充実した内容の新聞をお届けできるよう、そして10年15年と続けていけるよう頑張っていきたいと思います。

2月の連休

2月4日(火) 5日(水)

特集 おび弘さんの工房を訪れて



11月某日滋賀県長浜市にあるおび弘さんの工房にお邪魔しました。おび弘さんといえば、最高級の手織りの技術を持つ帯メーカーさんで、その技術力には定評があります。琵琶湖の北端、長浜市街から郊外へ車を走らせたのどかな場所におび弘さんの工房があります。この地は昭和30年代に京都の工房で織を学んだ職人さんがこの地で再び織ることができるようにとたてられたそうです。



おび弘さんの工房には、現在十数台の織機があり、すべて手織りで織られています。中でも一番すごいのは本袋帯という織り方で、通常袋帯は表地と裏地を別に織り、後で両端をかがり、一本の帯に仕上げていくのですが、表地と裏地がつながっている本袋帯の場合、両面を同時に織っていきます。



何度説明していただいても、どうやって織っているのか私には理解できないので、うまく説明できず申し訳ないのですが、複雑な織り方を理解して織っていくのは、かなりの経験と熟練な技が必要なことは想像できます。その他にもつづれ織りや変わり織、またお相撲さんのまわしなどを織っています。3月のたんばぼ会ではおび弘さんの素敵な帯をご紹介できると思いますので、是非ともご期待ください。

twitter、facebook、
アメブロやっています。

着物・和雑貨のかわちや
フェイスブックページ

<http://www.facebook.com/kawachiya888>

もっと着物を楽しもう！
かちゅうあんブログ

<http://ameblo.jp/kawachiya/>

日々、ブログを更新しています。
着物のこと、日常のこと、音楽のことなどつづっています。
チェックしてみてください。

呉服の河内屋

〒444-0521
愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子62
<http://www.gofuku-kawachiya.co.jp>
メール info@gofuku-kawachiya.co.jp
tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539